２０２６年（令和８年）２月８日　日曜日

デーリー東北　１１面　掲載

成年青森は５位

得点力不足、結果に満足せず

【成年５位決定戦・青森一香川】第１ピリオド21秒、青森は坂本渓太（右から２人目）が先制ゴールを決める

▽成年５位決定戦

青森 7（2－0、4－0、1－1）1 香川

▽得点者【青】坂本、中村翔、堀内、大久保2、中村海2【香】越後谷

【評】運動量に勝る青森が序盤から主導権を握り、快勝した。試合開始21秒、坂本がミドルシュートを決め先制すると、リズムに乗った攻撃陣が着々と得点を積み重ね7得点。守っては数的不利での1失点に抑えた。

【青森】

反	補	得			
0	0	0	武	FW	日
0	0	1	武	FW	大
0	1	0	坂	FW	佐
2	0	2	中	FW	宮
2	1	1	川	FW	西
0	1	2	大	FW	藤
1	0	0	中	FW	増
1	0	1	村	FW	村
0	1	0	堀	DF	内
0	0	0	最	DF	上
2	0	0	高	DF	崎
0	0	0	藤	DF	口
0	0	0	三	DF	補
0	0	0	月	GK	館
5	1	7		計	

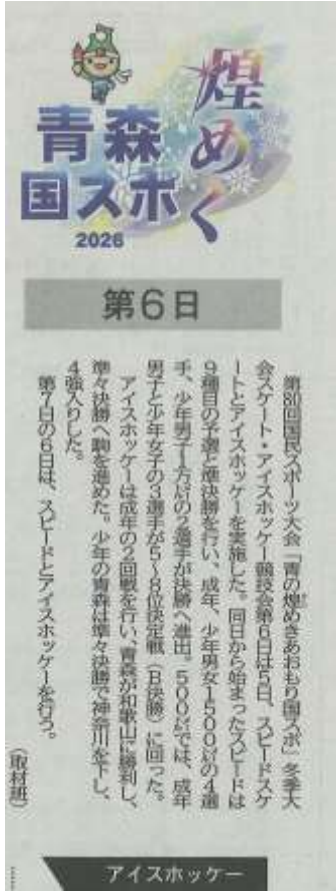
【香川】

得	補	反			
0	0	0	向	FW	日
0	0	0	浦	FW	浦
0	0	0	野	FW	野
0	1	0	脇	FW	脇
0	0	0	村	FW	村
0	0	0	本	FW	本
0	0	0	田	FW	田
0	0	0	正	DF	正
0	0	0	彩	DF	彩
0	1	0	小	DF	小
0	1	1	谷	DF	谷
0	0	0	徹	GK	徹
1	2	1		計	

○…６日の準々決勝で栃木に敗れ、順位決定戦に回った成年青森が〝最低限〟の５位をもぎ取った。澤口雄次監督は「ここ数年５位が定位置になっている。上を目指す上で、得点力不足が課題だ」と大会を総括した。

試合開始わずか21秒で、目の覚めるようなミドルシュートを決めて攻撃を活性化させた坂本渓太（吉田産業）は「１セット目に入る自分の役割を果たせた」と納得する一方で「優勝を目指していたので、結果には満足していない」と悔やんだ。

主将として社会人と大学生の融合に腐心した武田裕大（八学大職）は「集まった段階から優勝という目標に全員が向いているべきだった。栃木はそれができていた」と、責任を痛感していた。



青森国スポ煙めく 2026

第６日

第80回国民スポーツ大会「青の煙めきあおもり国スポ」冬季大会スケート・アイスホッケー競技会第６日は５日、スピードスケートとアイスホッケーを実施した。同日から始まったスピードは９種目の予選と準決勝を行い、成年、少年男女1500㍍の４選手、少年男子１万㍍の２選手が決勝へ進出。500㍍では、成年男子と少年女子の３選手が５～８位決定戦（Ｂ決勝）に回った。

アイスホッケーは成年の２回戦を行い、青森が和歌山に勝利し、準々決勝へ駒を進めた。少年の青森は準々決勝で神奈川を下し、４強入りした。

第７日の６日は、スピードとアイスホッケーを行う。（取材班）

アイスホッケー

デーリー東北新聞社提供